

福岡市「高年齢者雇用に関する調査」への ご協力をお願い

日ごろより、市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

少子高齢化、人口減少が進む中、経済社会の活力を維持するためには、すべての年代の方が特性や強みをいかし、担い手として活躍できる環境を整備していくことが重要となっています。

こうした状況を踏まえ、福岡市におきましては、このたび、高年齢者雇用に関する事業者の皆様のご意向と現状を把握するため、全市的な調査を実施することといたしました。この調査は市として初めて行うもので、並行して実施する高年齢者対象のアンケートの結果と併せて、今後、具体的な施策を検討することとしています。

皆様におかれましては、大変ご多忙のことと存じますが、どうか、調査の趣旨をご理解いただき、回答にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、調査票は、記入後、同封の返信用封用（切手不要）に入れて、7月22日（月）までに郵便ポストに投函していただきますようお願いいたします（webでの回答も可能です）。

令和元年7月
福岡市 保健福祉局

<ご記入にあたって>

- 本調査は、市内に事業所を持つ事業者の皆様にご高年齢者雇用についてお尋ねするものです。
- 回答内容は、本調査の目的の範囲内でのみ利用し、個別の企業名などを公表することは一切ありません。
- 記入は鉛筆、ボールペンなど何でもかまいません。
- 回答は、問の順番どおりに進み、矢印や案内に沿ってお答えください。
- 「その他」を選んだ場合は、その内容を（ ）内に具体的に記入してください。
- 本調査は web 上でも回答が可能です。次の URL・QR コードよりご回答ください（web 上で回答いただいた場合は調査票の提出は不要です）。

URL: <https://rsch.jp/eqt1/?177372>

QR コード： 右側のコードを読み取りください



- 本調査は（株）プリミティブ・ドライブに委託して実施しております。

（後日、ご記入内容の確認のため、委託会社よりご連絡させていただくことがあります。）

【問い合わせ先】

「高年齢者雇用に関する調査」事務局（株）プリミティブ・ドライブ内 担当：西中間、山田
〒810-0041 福岡市中央区大名2丁目8-18 天神パークビル7階
TEL 092-735-1077 / FAX 092-735-1093
e-mail : mado2@primitive-drive.co.jp

【調査主体】

福岡市保健福祉局 高齢社会部 高齢福祉課（担当：佐野、島田）

福岡市 高年齢者雇用に関する調査

◆貴事業所についてお答えください

貴社名・貴事業所名			
担当者 氏名		部署名	
ご連絡先（電話番号）			

*福岡市（市委託先）より、高年齢者雇用に関するセミナーなどの情報を提供させていただきますので、よろしければメールアドレスをご記入ください。

メールアドレス	
---------	--

問1. 貴事業所の業種は何ですか。（○はひとつだけ）

1. 農林水産業	2. 建設業	3. 製造業	4. 電気・ガス・熱供給・水道業
5. 情報通信業	6. 運輸業・郵便業	7. 卸・小売業	8. 不動産業・物品賃貸業
9. 金融・保険業	10. 宿泊業	11. 飲食サービス業	12. 娯楽業
13. 教育、学習支援業	14. 医療、福祉	15. 生活関連サービス業	
16. その他のサービス業	17. 学術研究、専門・技術サービス業		
18. その他（ ）			

問2. 貴事業所の従業員数は何名ですか。人数をご記入ください。（非正規社員を含む）

（ ）名

問3. 貴事業所の代表者（社長など）の年齢をご記入ください。

（ ）歳

問4. 貴事業所の人員の充足状況はいかがですか。（○はひとつだけ）

1. 不足している	2. やや不足している	3. ちょうどいい	4. やや過剰である	5. 過剰である
-----------	-------------	-----------	------------	----------

↓ 問5へ

→ 問6へ

問5. 「不足している」「やや不足している」と回答した事業所にお尋ねします。

どのような職種の人材が不足していますか。（○はいくつでも）

1. 管理的職業従事者	2. 専門的・技術的職業従事者	3. 事務従事者
4. 販売従事者	5. サービス職業従事者	6. 保安職業従事者（警備員など）
7. 農林漁業従事者	8. 生産工程従事者	9. 輸送・機械運転従事者
10. 建設・採掘従事者	11. 運送・清掃・包装等従事者	
12. その他（ ）		

問6. 貴事業所では、正社員に定年がありますか。

（1か2いずれかに○。1を選んだ場合は、ア～オのいずれかに○）

1. ある（ア. 60歳 イ. 61～64歳 ウ. 65歳 エ. 66～69歳 オ. 70歳～）→問7へ
2. ない→問8へ

問7. 「定年がある」と回答した事業所にお尋ねします。貴事業所では定年後の継続雇用制度はありますか。

（1か2いずれかに○。1を選択した場合は、ア～オに該当するものひとつに○）

1. 継続雇用制度あり（ア. 63歳まで イ. 64～65歳まで ウ. 66～70歳まで エ. 71歳以上 オ. 年限なし）
2. 継続雇用制度なし

◆現在の60歳以上の高年齢者の雇用（非正規社員を含む）についてお答えください

問8. 現在、貴事業所では、60歳以上の方を雇用していますか。

（1か2いずれかに○。1を選んだ場合は、ア～エのあてはまるものすべてに○）

1. いる（ア. 定年なし イ. 定年前 ウ. 定年後、継続雇用中 エ. 60歳以上からの新規採用）→問9へ
2. いない →問13へ（3ページ）

問9. 現在、貴事業所で雇用している方のうち、60歳以上の方は何名ですか。また、そのうち、65歳以上の方は何名ですか。人数をご記入ください。

60歳以上（ ）名	〔うち 65歳以上（ ）名〕
-----------	----------------

問10. 60歳以上の方の就労形態は、次のうちどれですか。（○はいくつでも）

1. 正社員	2. 嘱託・契約社員	3. パート・アルバイト
4. 派遣社員	5. 会社・団体役員	6. その他（具体的に： ）

問11. 60歳以上の方の職種は、次のうちどれですか。（○はいくつでも）

1. 管理的職業従事者	2. 専門的・技術的職業従事者	3. 事務従事者
4. 販売従事者	5. サービス職業従事者	6. 保安職業従事者（警備員など）
7. 農林漁業従事者	8. 生産工程従事者	9. 輸送・機械運転従事者
10. 建設・採掘従事者	11. 運送・清掃・包装等従事者	
12. その他（具体的に： ）		

問12. 60歳以上の方（定年前の方を除く）の平均的な勤務日数や勤務時間はどれくらいですか。

（○はいくつでも。2～4を選択した場合は勤務日数、勤務時間を具体的にご記入ください。）

ア. 定年退職した社員を継続して雇用している場合	1. フルタイム 2. 短日数（週____日） 3. 短時間（1日____時間） 4. 短日数かつ短時間（週____日、1日____時間） 5. その他（具体的に： ）
イ. 60歳以上の方を新規に採用している場合	1. フルタイム 2. 短日数（週____日） 3. 短時間（1日____時間） 4. 短日数かつ短時間（週____日、1日____時間） 5. その他（具体的に： ）

※「短日数」…フルタイムより日数が少ない
「短時間」…フルタイムより時間が少ない
「短日数かつ短時間」…フルタイムより日数・時間ともに少ない

問13. 60歳以上の求人にあたって次の支援窓口やサービスなどを利用したことがありますか。

(○はいくつでも)

- | | | |
|----------------|------------------------|---------------|
| 1. ハローワーク | 2. シルバー人材センター | 3. 民間就職支援サービス |
| 4. 求人情報・新聞・チラシ | 5. インターネット (パソコン・スマホ等) | 6. 社員・知人の紹介 |
| 7. その他 () | | 8. 利用したことはない |

◆今後の60歳以上の高齢者の雇用についてお答えください

問14. 今後、貴事業所では、60歳以上の高齢者を活用する意向がありますか。(○はひとつだけ)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. 積極的に活用したい | } → 問15へ |
| 2. 活用したい | |
| 3. 活用する意向はない | } → 問20へ (4ページ) |
| 4. 分からない | |

問15. 「今後高齢者を活用したい」と回答した事業所にお尋ねします。

60歳以上の高齢者を活用したい理由はなんですか。(○はいくつでも)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 会社が必要とする実務能力を活用できるため |
| 2. 豊富な経験や知識、高いノウハウを活用できるため |
| 3. 長年培ってきた幅広い人脈を活用できるため |
| 4. 若年従業員への技術・ノウハウの伝承や人材教育に役立つため |
| 5. 職場の雰囲気づくりにより影響があるため |
| 6. 人手不足のため (若年従業員が採用できないなど) |
| 7. 労働コストを抑えるため |
| 8. 高齢者雇用に関する法改正や社会的要請に応えるため |
| 9. 長年働いてきた従業員の就労希望者を、できるだけ継続雇用したいため |
| 10. その他 (具体的に:) |

問16. 高齢者を雇う時に特に、重視する項目はなんですか。以下の項目ごとに1~5から、ひとつを選んで○で囲んでください。

	重視する	やや重視する	どちらともいえない	あまり重視しない	重視しない
①健康であること	1	2	3	4	5
②体力があること	1	2	3	4	5
③業務に関する知識・経験が豊富であること	1	2	3	4	5
④環境に適応できること	1	2	3	4	5
⑤基本的な事務処理能力 (パソコンの使用など) があること	1	2	3	4	5
⑥コミュニケーション能力や協調性があること	1	2	3	4	5

問17. 今後、貴事業所において、60歳以上の高齢者の能力を活用する場合、どのような形態が望ましいと思いますか。(○はいくつでも。2を選んだ場合は、具体的な日数や時間をご記入ください。)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. フルタイムで雇用する (正社員、継続雇用など) |
| 2. 短日数・短時間で雇用する |
| ↳ { |
| ア. 短日数 (週 _____ 日) |
| イ. 短時間 (1日 _____ 時間) |
| ウ. 短日数かつ短時間 (週 _____ 日、1日 _____ 時間) |
| 3. 繁忙期など必要な一定期間だけ雇用する (期間限定社員など) |
| 4. アドバイザーや技能指導員として非常勤で雇用する |
| 5. 派遣社員として受け入れる |
| 6. 高齢者個人や高齢者による事業所などに業務を外注する |
| 7. シルバー人材センターに業務を依頼する |
| 8. 有償ボランティアとして、高齢者に自社の事業に協力してもらう |
| 9. 近くに住む高齢者を必要な時間雇用する |
| 10. その他 (具体的に:) |

問18. 貴事業所において、60歳以上の高齢者が行うことができる業務は何ですか。

可能性がある業務をすべて選んでください。(○はいくつでも)

- | | | |
|------------------|------------------|--------------------|
| 1. 管理的職業従事者 | 2. 専門的・技術的職業従事者 | 3. 事務従事者 |
| 4. 販売従事者 | 5. サービス職業従事者 | 6. 保安職業従事者 (警備員など) |
| 7. 農林漁業従事者 | 8. 生産工程従事者 | 9. 輸送・機械運転従事者 |
| 10. 建設・採掘従事者 | 11. 運送・清掃・包装等従事者 | |
| 12. その他 (具体的に:) | | |

問19. 貴事業所において、60歳以上の高齢者が行うことのできる具体的な業務内容を記入してください。

(例) PC データ入力、従業員の送迎バス運転、切削加工の技術指導、医薬品など専門性の高い営業など

→問21へ

問20. 高齢者を「活用していく意向はない」「分からない」と回答した事業所にお尋ねします。

その理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-----------------------------------|
| 1. 健康に不安があるため | 2. 体力に不安があるため |
| 3. 環境への適応が難しいため | 4. 基本的な事務処理能力 (パソコンの使用など) が足りないため |
| 5. 意欲や能力の問題があることが多いため | 6. 協調性やコミュニケーションが不安であるため |
| 7. 労働時間が短いため | 8. 重い責任を負わせられないため |
| 9. 若年者を優先して活用したいため | 10. 労働コストの負担が大きいため |
| 11. 上司、同僚との人間関係が難しいため | 12. 雇わなくても人員が充足しているため |
| 13. その他 (具体的に:) | |

→問21へ

◆将来の高年齢者の活用の可能性についてお答えください

問21. これまで貴事業所で高年齢者雇用に関する公的支援制度を利用したことがありますか。

(○はそれぞれひとつずつ)

[実施機関 厚生労働省]	
特定求職者雇用開発助成金（生涯現役コース）	→ 1. ある 2. ない 3. 制度を知らない
[実施機関（独法）高齢・障害・求職者雇用支援機構]	
65歳超雇用推進助成金	→ 1. ある 2. ない 3. 制度を知らない
[実施機関（独法）高齢・障害・求職者雇用支援機構]	
高年齢者雇用アドバイザーによる相談・援助	→ 1. ある 2. ない 3. 制度を知らない

問22. 60歳以上の高年齢者を活用していく上で、事業所内でどのような取組が必要ですか。(○はいくつでも)

1. 高年齢者に適した仕事の確保	2. 勤務日数・勤務時間などの制度設備
3. 賃金など処遇の制度整備	4. 研修・教育などの制度整備
5. 高年齢者に適した職場環境の整備	6. 健康維持のための制度や工夫
7. 労働意欲向上のための工夫	8. 円滑なコミュニケーションのための工夫
9. 人件費の確保	10. 採用活動の工夫
11. ITなど新しい技術の習得の支援	12. その他 ()

問23. 高年齢者の雇用について、今後行政はどのようなことに力をいれてほしいと思いますか。

以下の項目ごとに1～5のうち、ひとつを選んで○で囲んでください。

	重視する	やや重視する	どちらともいえない	あまり重視しない	重視しない
①高年齢者雇用に関する企業向けセミナーの実施	1	2	3	4	5
②高年齢者雇用に関する相談機能の強化	1	2	3	4	5
③高年齢者雇用に関する情報提供	1	2	3	4	5
④高年齢者向け合同企業説明会の開催	1	2	3	4	5
⑤高年齢者向け就業体験（インターンシップ）の実施	1	2	3	4	5
⑥企業と高年齢者のマッチング	1	2	3	4	5
⑦就業に向けた高年齢者への意識啓発	1	2	3	4	5
⑧高年齢者への知識や技術習得の支援	1	2	3	4	5

問24. その他、高年齢者の雇用に関して、ご意見がありましたら自由にご記入ください。

福岡市は今年度、高年齢者の就業を支援するため合同企業説明会や就業体験会等を行います。興味がある場合は、以下にチェックをお願いします。

【チェック欄】 合同企業説明会や就業体験会等に興味がある

質問は以上で終わりです。同封の封筒で切手を貼らずにお送りください。いただいたご意見は、これからの福岡市の高年齢者就業支援に役立ててまいります。ご協力誠にありがとうございました。